７．地域貢献情報

当ＪＡは、平成28年４月現在、京都市右京区（京北地域）、南丹市、京丹波町、亀岡市、福知山市（注１，２）、綾部市（注２）、舞鶴市（注２）、与謝野町、京丹後市、宮津市および伊根町を事業区域とし、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当ＪＡの資金は、その大半が組合員の皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉とし、資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにご利用いただいています。

また、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開し、ＪＡの総合事業を通じて各種金融機能・サービスを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献につとめています。

（注１） ただし三和、夜久野地域を除く。
（注２） ただし福知山市の中六人部・下豊富・大江地域、綾部市および舞鶴市の区域については、旧綾部酪農農業協同組合の組合員、その家族および後継者に限るものとする。

（単位：人、千円）

組合員・出資金	平成28年３月末残高
組合員数	53,357
出資金総額	10,621,014

(1) 地域からの資金調達の状況

① 貯金・積金残高

組合員の皆さまはもとより、地域の皆さま、地方公共団体、法人や地域団体のご利用によりお預かりしています。定期貯金をはじめ普通貯金、総合口座、定期積金など、目的や金額、預入期間にあわせてご利用いただいています。

（単位：千円）

預かり先	平成28年３月末残高
組合員	360,105,336
組合員外	72,672,046

② 貯金募集の状況

組合員とのふれあいを大切にし、全職員による貯蓄増強運動に取り組んでいます。

また、給与振込指定者向け定期積金、年金受給者向け定期積金により目的貯金、目標貯金をご提案しています。ほかにも、年間をとおしてさまざまなキャンペーンを展開し、有利な金利での定期貯金をおすすめしています。

取り扱いの貯金商品については、「信用事業のご案内（19ページ）」をご覧下さい。

(2) 地域への資金供給の状況

組合員をはじめ、地方公共団体、地域団体、地域住民の皆さまの暮らしや農業の発展、地域経済の向上に寄与できるよう資金をご融資しています。

（単位：千円）

融資先	平成28年３月末残高
組合員	33,374,261
地方公共団体等	5,995,612
その他	6,938,995

(3) 地域密着型金融への取り組み

① 制度融資取り扱い状況

認定農業者を中心に、農業経営発展のため農業近代化資金などご利用いただいているほか、行政や各種団体と連携し、農業集落排水事業や農業基盤整備事業にもご利用いただいています。

その他にも、日本政策金融公庫などの取り次ぎも行っています。

② 融資商品

農業融資を基本とし、営農促進のための資金をはじめ、農作物加工など六次産業参入のための資金や異常気象などによる罹災農家支援のための商品を備えるほか、組合員の皆さまのニーズにあわせた各種ローンを取り揃えています。

取り扱いの貯金商品については、「信用事業のご案内（20ページ）」をご覧下さい。

⑷　文化的・社会的貢献に関する事項

①　地域社会に貢献する活動

・　小学生・幼園児の親子を対象に「あぐりキッズスクール」を開催し、植え付け・収穫などの農業体験や収穫した野菜を使った料理体験をするなかで、農業の持つ貴重な役割や食と農のつながりを学ぶ機会を提供しています。

　また、栽培キットを使ってホウレンソウ、ラディッシュ、きのこを栽培し、その成長の様子を観察日記に記録する「キッズ菜園クラブ」に取り組んでいます。

・　地域の活性化や地域に必要とされる支店づくりに向け、「ＪＡくらしの活動」による１支店１活動をすすめ、地域イベントへの参加、清掃活動、ふれあい旅行など、組合員・利用者のみなさまと交流するなかで、人と人のつながりに重点を置いた活動に積極的に取り組んでいます。

・　女性部と共同でクリーンウォークラリーを開催し、地域美化と健康増進をすすめています。

・　小･中学生の書写教育への貢献を目的とした「書道コンクール」、児童･生徒の図画工作･美術教育の高揚と交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的とした「交通安全ポスターコンクール」を全共連と共同で開催しています。

・　「アンパンマン交通安全キャラバン」を全共連と共同で開催し、ステージショーをつうじて交通安全を呼びかけ、親子で交通安全について考える機会を提供しています。

　また、全共連と共同で対象者に応じた交通安全教室を開催し、交通安全への意識付けや、危険性の疑似体験教育などにより交通安全を呼び掛けています。

・　「赤い羽根定期積金」のご契約額の0.01％相当額をＪＡより赤い羽根共同募金に寄付するとともに、京都府共同募金会をつうじて、管内の福祉施設に京野菜を寄付し地域福祉に貢献しています。

・　学校の要請に応え、体験学習の場をとおして農畜産物や農業への理解を深める機会を設けています。

・　交通事故などによる地域での救急蘇生に備え、全支店に「AED」を配備しています。

・　日本赤十字社による献血運動への積極的な参加を役職員で行っています。

②　安心して暮らせる地域づくりのための取り組み

「安心救急ステーション」への登録（京都市）、「要支援者発見･通報事業」の協定締結（亀岡市）、「ひとり暮らし高齢者等の見守り支援」の活動（京丹波町）、「高齢者等見守りネットワーク」への登録（宮津市）など、地域に密着した協力活動のなかで安心して暮らせる地域づくりのための取り組みをすすめています。

　また、職員が「認知症サポーター」となって、高齢者支援活動として京都府の「京都高齢者安心サポート企業」に登録し、高齢者が安心して暮らせる支援体制を整えています。

③　利用者ネットワーク化への取り組み

「ＪＡ女性部」を各地で組織し、幅広い年代層が参加できる研修や催しを開催するとともに、家庭菜園の普及拡大をはかり、安全・安心な食物により家族の健康を守る提案を行っています。

　年金受給者による「年金友の会」を組織し、グラウンド･ゴルフ、ゲートボール、ゴルフ、囲碁、講演会、旅行などをつうじて健康増進や各地域の会員相互間の親睦をはかっています。

④　情報提供活動

組合員向け広報誌「ぱあとなぁ～」や地域住民に向け「タウン版ぱあとなぁ～」の発行、ホームページなどをつうじて、ＪＡの活動を中心に営農や暮らしに役立つ情報を紹介し、ＪＡを身近に感じてもらえるための情報を発信しています。

　さらに、各支店で地域密着型広報として「支店だより」を毎月発行し、組合員や地域住民とのコミュニケーションを深め、地域とともに歩む支店づくりをすすめています。

　ホームページアドレス　http://www.jakyoto.com

⑤　店舗体制

北は京丹後市、南は亀岡市にわたる地域に30の為替店舗、59台のＡＴＭを設置し、地域の皆さまにご利用いただいています。

　また、府内５ＪＡ･98店舗により京都府内をカバーする最大級のネットワークです。

（※平成28年７月１日現在）